第19回 日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

Japanese Society of Perinatal Mental Health

会期　2023年10月28日(土)～29日(日)

大会長　竹内 崇（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
精神行動医科学分野 リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当 准教授）

会場　一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

https://procomu.jp/pmh2023/

オンデマンド配信 2023年11月1日(水)～11月30日(木)	事前登録　～9月30日(土)まで 登録期間　10月1日(日)～11月30日(木)

会長講演　多職種で支える周産期リエゾンのバトン

特別講演
1 子どもの虐待予防と妊娠期・周産期からの妊産婦支援
鷲山　拓男（とよたまこころの診療所）
2 ステップファミリー支援と新しい家族観 ―子どもの視点からの再検討
野沢　慎司（明治学院大学社会学部）

シンポジウム
1 地域包括ケアを支える周産期リエゾン ～各職種の立場から～
2 周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2023を上手に使いこなそう！
3 “育つ”“生きる”を支える医療・自治体の取り組み

セミナー　認知行動療法セミナー

研修・教育　1 発達障害　2 薬物療法　3 母子のための地域包括ケアシステム

ワークショップ　ゲートキーパー研修 ～自殺防止のために支援者ができること

共催セミナー
1 国内のガイドラインからみた周産期薬物治療
2 うつ病や不眠症はなぜ女性に多いか －患者への理解を深めるために－
3 周産期における必須脂肪酸バランスの重要性
－お母さんと赤ちゃんの健康のために妊娠前から摂っておきたいオメガ3

多職種で支える周産期リエゾンのバトン
～皆の“育つ”“生きる”を支える～



学会運営担当
株式会社プロコムインターナショナル　〒135-0063　東京都江東区有明三丁目6番地11　TFTビル東館9階
TEL：03-5520-8821　FAX：03-5520-8820　E-mail：pmh19@procom-i.jp